

INTERVIEW

手話奉仕員養成講座の受講者とろう者の方にお話を伺いました。

小林市手話通訳者派遣協会
副会長

いけのうえけいこ
池之上恵子さん



当事者として積極的に取り組む

私たちろう者は、会話したいという気持ちはありますが、相手に通じないことが多くあります。特に病院やスーパーでの買い物などでコミュニケーションをとらないといけなときはすごく大変です。また、耳が聞こえないことを相手が知ったとき、迷惑そうな顔をされることがあり、それがすごく悲しいです。だからこそ、手話言語条例を通して、障がい者への理解が少しでも広まると嬉しいです。それでも、地域や職場などできちんと理解してもらうことはむずかしいと思っています。自分も積極的に動き、目の前にある問題を1つ1つ解決していくことで理解を深めていきたいと思っています。

手話奉仕員養成講習会
受講者

ゆずきひでじ
柞木英治さん



手話でお互いが嬉しい気持ちになる

補聴器の販売などの仕事でろう者の方と接する機会が多かったので、2年前から講習会に通い始めました。まだまだ、片言でしか会話はできません。しかし、それでもろう者の方に「少し手話をやっています」と話しかけるとすごくうれしそうな顔をしてくれて、それで私もうれしい気持ちになります。そのとき、手話を習ってよかったと心から思いました。講習会は先生も生徒も楽しみながら勉強をしていて、仕事で休みがちになった後でも通いやすい雰囲気です。自分のペースで通うことができたからこそ、2年間続けてこれたのだと思っています。これからも、継続していきたいと思っています。

【特集】小林市手話言語条例を施行します

一緒に手話を 学びませんか？



写真①小林市手話通訳者派遣協会では、依頼を受けたとき各種講演会などで手話通訳を行っています。写真②今年のこばやし福祉推進大会では、園児と手話講習会の生徒などが一緒に「365日の紙飛行機」を手話を交えながら歌いました

手話言語条例が制定されています。市でも、手話の理解と普及、また手話をしやすい環境を構築し、ろう者と健常者が共に生きることができ、地域社会を実現するために「小林市手話言語条例」を制定しました。今後、現在実施している手話通訳者派遣事業や手話奉仕員養成講座をさらに充実させていただきます。また、手話の啓発

条例を制定し 各種事業を推進

や普及を進めるため、事業者や学校で手話に関する講話を開催するなど新たな事業も実施する予定です。安心して暮らせるまちをつくるためには、地域住民や事業所など多くの協力が必要です。皆さんも、聴覚障がいのある人たちの生活や気持ち、必要な支援などについて理解を深めるとともに、あいさつなど簡単な手話から覚えてみませんか？

手話は、音声言語である日本語とは異なり、手指や体の動き、表情を使って視覚的に表現する言語です。ろう者は、他者とのコミュニケーション手段として手話を大切に育んできました。しかし、これまで手話が言語として認められてこなかったことや手話で使用できる環境が整えられてこなかったことなどから、ろう者は、必要な情報を得ることが難しく、多くの

手話はろう者が大切に育んできた言語

そのような背景の中、平成18年に採択された「障害者の権利に関する条約」や平成23年に改正された「障害者基本法」で手話が言語として位置付けられました。これらの動きを契機に、全国的に手話を必要とする人がいつでもどこでも安心して意思疎通を図ることができるよう地域社会を作ろうという機運が高まっており、現在100以上の自治体で

手話が必要な人が安心できる社会へ

不便や不安を感じながら生活してきました。

市では4月1日から「小林市手話言語条例」を施行します。この条例は、手話が言語であるという認識に基づき、手話の理解と広がりをもって、すべての市民が互いに助け合いながら安心して暮らせるまちを目指し制定するもの。今回は、コミュニケーションのバリアフリー化について考えます。

LET'S TRY

日常生活でよく使う、簡単な手話7つを紹介します。

おはよう



枕をはずす動作
こぶしを顔の横
で下におろす。
「朝」も同じ手
話です。

こんにちは



時計の正午を表現
人さし指と中指をそろえ
て額に当てる。「昼」も同
じ手話です。

こんばんは



暗くなる
様子を表現
手のひらを前に
向けた両手を交
差させる。「夜」
も同じ手話です。

ありがとう



左手首に右手の
小指側を当てて
右手を上方へ動
かす。

どうしたの？



人さし指を左右
に動かす。表情
でも疑問の意味
を表す。

分かった



右手の手のひら
で胸を撫でおろ
す。

分からない



手話は表情
も大切！

右手指先で右胸
の脇をはらいあ
げる。

「手話を始める第一歩」手話講習会に参加しませんか？



- ◆ 小林会場
◆ 開講日 4月18日（水曜）
◆ 日時 毎週水曜
- ◆ 日の部 10時～11時30分
◆ 夜の部 19時30分～21時
- ◆ 場所 市社会福祉センター
- ◆ 野尻会場
◆ 開講日 4月17日（火曜）
◆ 日時 毎週火曜
- ◆ 場所 野尻町保健福祉センター
- ◆ 申・問 福祉課
TEL 23・0111

INTERVIEW

聴覚障がい者協会やボランティア団体の皆さんにお話を伺いました。

手話は大切なコミュニケーショントール

ろう学校で子どもたちは、手話はもちろん相手の口の形を読み取りコミュニケーションをとる口話なども勉強しています。しかし、口話でコミュニケーションをとることは難しく、日常生活で活用することはなかなかできません。また、筆談での会話もできませんが、時間がかかってしまいます。そのため、ろう者にとって最も大切なコミュニケーションは手話となつ



西諸聴覚障害者協会小林支部長
小林市手話通訳者派遣協会
とくなが きちろう
徳永吉朗さん

ています。しかし、手話が社会で使われることは今のところ、ほとんどありません。コミュニケーションのバリアフリー化のためにも手話を広げていく必要があると考えています。

災害発生時に備えろう者の社会参加を

コミュニケーションをとることを重要視している理由は、災害など緊急を要することが起きたときに備えるためです。災害が発生したとき、ろう者は警報など

皆で協力し安心して暮らせるまちに

手話言語条例の施行はゴールではなくスタートです。これまで行ってきた講習会の継続はもちろん、事業所や学校、保育園などでの手話教室もできればと考えています。手話への理解を深めることは、簡単ではありませんが、ろう者の皆さんや手話サークルなどのボランティア団体、行政と協力し、誰もが安心して暮らせるまちを目指していきます。

が聞こえないため対応が遅れてしまいます。そのとき、普段から隣近所の人たちとコミュニケーションを取れないと助け合うことはできません。手話ができる人が1人でも地域にいることでろう者の人たちは社会参加しやすくなり、もしものときに備えることができます。



手話奉仕員養成講習会
講師
ずしはるよし
圖師春義さん

手話奉仕員養成講座では、みんなが楽しく学べるよう工夫をしています。野尻会場では、親子連れで参加されている人もいます。簡単なあいさつを覚えるだけでもろう者にとっては、うれしいことです。興味がある人はぜひ参加してください。



手話サークル木の実会
会長
おかはら なおみ
岡原直美さん

手話を学ぶことは、ろう者に対する理解が深まるのはもちろん、相手の立場に立って物事を考える心も育まれていると感じています。その心が、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながっていくのだと信じています。